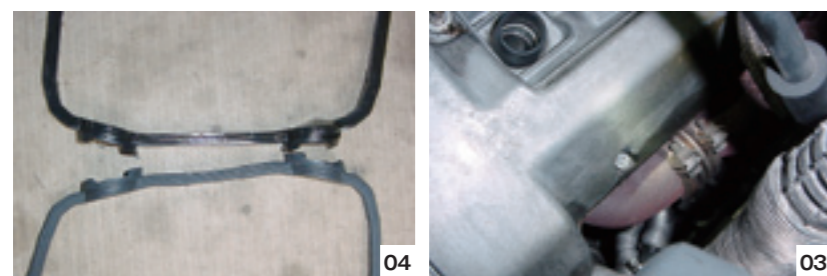
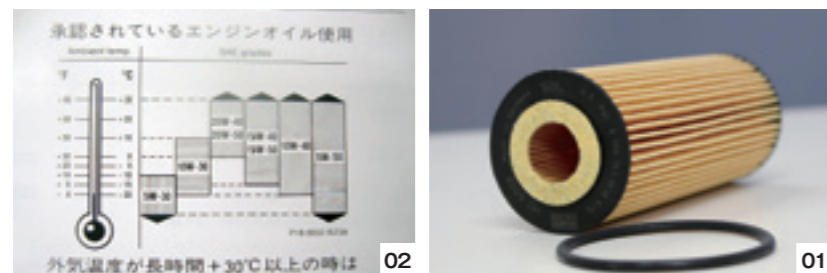


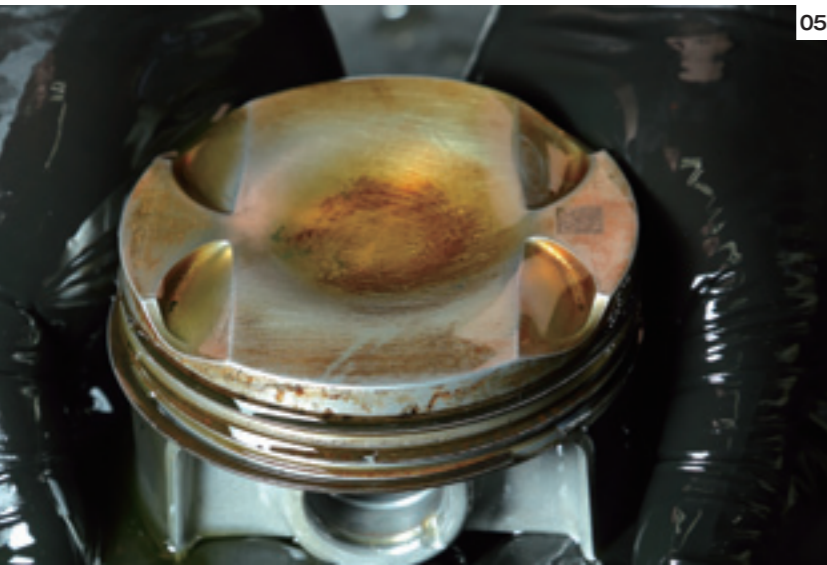


〇〇Wという数字は低粘度で、この数字が小さいほど低温時の粘度が柔らかい。そのため硬いオイルに比べ始動性が良くなることから、冬場は粘度が低い方がいいと言われている。その際の粘度は左側の数字であることを覚えておこう。右側の数字は高温時の粘度を表している。この数字が大きいくほど、高温時の粘度が硬く熱に強い。従って高温化でも油膜切れの心配がなく、夏場に適したオイルだと言えるのである。



01. オイル交換時にはフィルターを交換するのがセオリーだが、部品のチョイスもプロショップなら安心。
 02. 写真はメルセデスの取り扱い説明書を見ると、オイルの指定粘度が記載されている。
 03. 基準粘度に該当しないサラサラなオイルを入れてしまうと、オイル漏れの原因になる。
 04. エンジンに備わるゴムパッキンが劣化しているケースが多い。こういった部分の点検が重要になる。

05. エンジンオイルにはいくつかの性能要件があるが、中でも重要なのが潤滑。オイルによる潤滑は、必ず潤滑させたい相対する面の間に油膜がある、つまりオイルで濡れた状態が保たれていなくてはならない。この油膜が保たれている限り、パーツとパーツは直接擦れ合うことなく、極小のフリクションで摺動できる。だからこそ、エンジンオイル交換は重要なメンテナンスであり、コンディションに合わせたオイル選びをしておくことで、そのエンジンが持つ本来の性能を発揮できるようになる。



のから高いオイルまでであるが、その違いは性能の違い。例えば、粘度に頼らずに幅広い温度域で強い油膜を保つための、化学的な工夫が盛り込まれているのが高性能オイル。オイルメーカーでは、ホットチューブテストという耐熱試験を行なっている。この試験は、ヒストン周辺などに堆積するカーボンやスラッジの発生量を判断するもの。また、オイルメーカーが行なうホットチューブテストは耐熱性だけでなく、オイルの基本性能の評価として

ととらえられているほど、良し悪しを判断する上で重要なテストなのである。この評価が低いオイルは、高温時に油膜切れを起こしやすい。先にも書いたように、油膜切れこそがもっとも避けるべき状態なの言うまでもない。

能オイルまでいろいろとある。一方、輸入車を扱っているプロショップに常備してあるオイルは、輸入車に適したオイルを用意している。性能面において問題のない、信頼できるオイルなのである。粘度についても、季節に合わせてオイルのチョイスを変えるなどのアドバイスもくれるところもあるし、古めのクルマに、近年増えているサラサラのオイルを入れてしまうと、オイル漏れを起こしやすいといった、アドバイスもしてくれるのもプロショップ

でオイル交換をするメリットである。そして、オイル交換時に各部の点検をしてくれるところが多いのも、プロショップに作業を依頼する大きなメリット。抜いたエンジンオイルの状態からコンディションを見てくれたり、周辺のオイル漏れ、ホースや樹脂パーツの劣化など、ウィークポイントを熟知している専門工場であれば、同時に見てくれるところも多いのだ。今すぐにメンテナンスが必要ではなくて

も、不具合が起きそうな部分を知っておけばトラブルを未然に防ぐことに繋がる。高年式モデルであれば、オイル交換時にコンピュータ診断を受けておけば、突然発生する電気系トラブルも避けられる。一般的に、ガソリンスタンドやカーグッズ量販店に比べると、プロショップでのオイル交換費用は少し高めになる。だがそれ以上の安心感と愛車のコンディション維持を得られるメリットは大きいといえるのである。



プロショップでのオイル交換のメリット

- メリット01 → ドイツ車に合ったオイルのチョイス
- メリット02 → 季節ごとのアドバイスがもらえる
- メリット03 → 交換ついでの点検

● 基本中の基本メンテナンス

プロショップでのエンジンオイル交換が愛車を快調に保つ!

ガソリンスタンドやカーグッズ量販店でもエンジンオイルの交換はできるけれど、ドイツ車を熟知した工場やショップでのオイル交換は、やはりメリットが大きい。

●文= GERMAN CARS ●撮影: 古閑章部
 ●取材協力: セントラルオート ☎ 048-930-6800

「オイル何使っている?」どの銘柄のオイルが高性能なの?」といったように、エンジンオイルというテーマだけでもクルマ談義が大いに盛り上がり、盛況なほど、クルマ好きにとっては大きな関心事の一つ。エンジンオイルの交換は、基本中の基本メンテナンスであり、交換サイクルが短い身近なメンテナンスでもある。最近では様々なメーカーから、いろいろなタイプのオイルがリリースされていて、ガソリンスタンドや大規模カーグッズ量販店でもオイル交換ができるようになってきている。では、なぜプロショップでのオイル交換はメリットが大きいのか。その前に、エンジンオイルについて簡単に説明しておこう。

エンジンオイルには「潤滑」「冷却」「防錆」「密封」「洗浄」といった主に5つの役割が持たされている。その中で重要なのが、潤滑である。オイルによる潤滑は、必ず潤滑させたい相対する面の間に油膜がある、つまりオイルで濡れた状態が保たれていなくてはならない。この油膜が保たれている限り、パーツとパーツは直接擦れ合うことなく、極小のフリクションで摺動できる。もし、油膜切れを起こしてしまうと、パーツ同士が接触して焼きつきを起こしてしまい重大なトラブルに繋がってしまうのだ。そういったことが起きないように、オイルは潤滑というとても大切な役割を担っているのである。

エンジンオイルというと、安いも、不具合が起きそうな部分を知っておけばトラブルを未然に防ぐことに繋がる。高年式モデルであれば、オイル交換時にコンピュータ診断を受けておけば、突然発生する電気系トラブルも避けられる。一般的に、ガソリンスタンドやカーグッズ量販店に比べると、プロショップでのオイル交換費用は少し高めになる。だがそれ以上の安心感と愛車のコンディション維持を得られるメリットは大きいといえるのである。

高いオイルと安いオイルは、いったい何が違うの?」